

No.77

2025年7月1日発行

京葉分會だより

KEIYOBUNKAIDAYORI

多様な仲間と 築く安全 未来の職場

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会

www.kensaibo-keiyo.com

長野県 上高地

目次

目次	1
ご挨拶 船橋労働基準監督署長	2
令和7年度 建災防京葉分会通常総会	3
令和6年度 事業実施報告	4~6
令和6年度 収支決算	7
令和7年度 事業計画	8
令和7年度 収支予算	9
船橋労働基準監督署 職員紹介	10
監督署からのお知らせ	11~13
令和7年度 建災防千葉県支部通常総会	14
令和6年度 第2回現場安全パトロール	15
特集:女性経営者座談会Vol.8	16
あなたの近くの素敵なお店	17
特集:わたしの1ページ	18
詰め将棋	19-1
事務局からのお知らせ	19-2

ごあいさつ ～全国安全週間にあたって～

日ごろより、建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会並びに会員の皆様には、労働基準行政の推進に、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の船橋労働基準監督署管内の建設業における労働災害の発生状況は、死傷者数がコロナ感染症によるものを除き123人、死亡者数は1人という結果でした。一昨年と比較いたしますと死傷者数は17人の増加(+16.0%)、死亡者数は1人と同数でした。

なお、今年に入りまして、当署管内の建設業は、5月末時点の速報値ですが、死傷者数が同様にコロナ感染症によるものを除き37人と昨年同時期と比べ3人減(-7.5%)となっており、死亡者数は建設業におきましては幸いにも発生しておりません。

また、このたび6月1日から、熱中症の早期発見、重篤化防止を図る観点から、報告体制の整備や関係労働者への周知などを罰則付きで義務化する労働安全衛生規則の改正省令が施行されました。そして、今年も7・8月を重点取組期間として「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の取組も推進しております。

多くの建設現場などで見かける「安全第一」は、誰もがよく耳にする言葉ですが、これは1900年代初頭にアメリカの大手鉄鋼会社の社長が、当時、不景気で劣悪な労働環境下で、労働者たちが苦しむ姿に心を痛め、経営方針を「安全第一」に改めたことに由来すると言われています。この経営方針の変更により、労働災害が減少しただけでなく品質もさらに改善され、生産性も向上しました。そして、この言葉はアメリカから世界中に広がり、日本では現在でも多くの現場で使われています。このように、トップ等の明確な表明は安全衛生水準の一層の向上にもつながるものと考えております。

つきましては、本週間中にぜひ安全についての所信表明をしていただき、実効ある安全衛生活動の実施をお願いいたします。

人手不足、長時間労働、高齢化、そして建設資材の高騰など抱える課題は多岐にわたりますが、今後も健全な発展を続けるためにも、労働災害の減少に向け、墜落・転落災害防止対策をはじめ、働く高齢者の特性にも配慮した転倒災害防止対策などにも引き続き取り組んでいただき、外国人労働者を含む建設業に携わる誰もが安心・安全・そして安定して働ける職場づくりを目指していただきますよう、重ねてお願いいたします。

最後に、建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会並びに会員事業場の益々のご発展と無災害を祈念いたしまして安全週間にあたっての挨拶とさせていただきます。



船橋労働基準監督署長 塩田 康夫

令和7年度 建災防京葉分会 通常総会

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会の令和7年度通常総会が、令和7年5月16日に浦安ブリイトンホテル東京ベイにて開かれました。

高山分会長のあいさつでは「死亡災害ゼロ、全ての労働災害撲滅」と言う事を掲げ、強い意志を示しました。労働災害は個人の生命や生活に大きな影響を与え、業界全体にも深刻な影響を及ぼすと指摘。「一人一人の安全が最優先の理念のもと現場でのリスクアセスメント、安全教育の徹底、最新の安全技術の導入を進め、業界全体でさらに一歩踏み込んだ安全対策に取り組む所存である」と強調されました。

続いて松倉工業(株)の松倉年繁氏が議長を務め、第1号議案で昨年度の事業報告、第2号議案で今年度の事業計画として安全パトロール、労働災害防止大会、産業安全衛生大会、優良事業所見学会、合同研修会、安全祈願祭についての審議、第3号議案で理事の補選の承認がなされました。

来賓祝辞で登壇された船橋労働基準監督署の塩田署長は労働基準行政への協力に謝辞を伝えた後、今年度の最重要点として①長時間労働の抑制と過重労働による健康障害の防止、②一般労働条件確保改善対策、③労働災害発生状況に応じた災害の防止、④適正迅速な労災の復旧について述べられ説明されました。「過労死などの労災請求があった事業所、月80

時間を超える現場などに対して指導に取り組む」「法令知識が不足している事業所に対しては訪問して丁寧に対応したい」と話されました。

また今回の安全衛生規則の改正は事業所が行うべき熱中症対策を定めたもので、熱中症の恐れのある作業員等を早期発見し、初期症状の放置、対応の遅れなどの防止対策の整備、症状の状況に応じて迅速かつ適正に対処できる手順の作成を強化するように述べられました。

「5月からは熱中症対策のクールワークキャンペーンに入っている。この時期に熱中症予防の準備を少しずつ確実に進めていただきたい」と祝辞を締めくくりました。

続いて建災防千葉県支部の堀内専務理事が2023年スタートの国の第14次災害防止計画、建災防独自の第9次建設業労働災害防止計画を進めている中、死亡災害が目標値よりも多い件数となっていることを指摘。目標達成に向けて一層の取り組みの強化を図る必要があると述べられ、引き続き働く人の安全と健康の確保に対する努力をお願いし、今日を契機に労災防止活動がなお活性化し、安全衛生の確保、快適な職場づくりができるよう取り組んでいただきたいと祝辞を述べられました。

総会終了後には葛南港湾事務所の桐木所長の乾杯のご発生で懇親会が賑やかに開催されました。



高山分会長



船橋労働基準監督署 塩田署長



建災防 千葉県支部 堀内専務理事

令和6年度 事業実施報告

京葉分会では、建災防の目標である「建設業における労働災害ゼロ」を目指しており、令和6年度も目標達成に向けて諸事業を実施してまいりました。

その実施内容を下記のとおり報告いたします。

1. 理事会及び総会の実施

ア. 第1回理事会

実施日 令和6年4月26日

場 所 京葉建設会館

議 題

- ①令和5年度 事業報告及び収支決算報告について
- ②令和6年度 事業計画及び収支予算(案)について
- ③役員等の改選(案)について
- ④令和6年度通常総会について
- ⑤全国労働安全衛生大会後の祝賀会について
- ⑥令和6年度研修旅行計画(案)について
- ⑦第29回京葉分会安全大会について
- ⑧会員の入退会について

イ. 通常総会

実施日 令和6年5月17日

場 所 浦安ブライTONホテル東京ベイ

議 題

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算報告について
- 第2号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 第3号議案 理事および代議員の任期満了に伴う改選(案)について

ウ. 第2回理事会

実施日 令和6年6月21日

場 所 京葉建設会館

議 題

- ①令和6年度事業計画について
- ②第29回京葉分会安全大会について
- ③令和6年度合同研修旅行について
- ④全国労働安全大会後の祝賀会について
- ⑤優良事業所見学会(案)について

エ. 第3回理事会

実施日 令和6年12月6日

場 所 京葉建設会館

議 題

- ①令和6年度事業実施状況(中間報告)について
- ②令和6年度予算執行状況(中間報告)について
- ③第29回安全大会開催結果について
- ④安全祈願祭の実施(案)について
- ⑤令和7年度事業計画(案)について

2. 広報関係

ア. 「分会だより」の発行

第75号 令和6年7月1日発行 (400部)

第76号 令和7年1月1日発行 (400部)

イ. 広報委員会の開催(京葉建設会館)

第1回編集委員会 令和6年 5月10日(京葉建設会館)

第2回編集委員会 令和6年 6月 5日()

編集委員会反省会 令和6年 7月12日(ゆる爛酒場 煮りん)

第3回編集委員会 令和6年11月13日(京葉建設会館)

編集委員会忘年会 令和6年12月11日(Pizzeria Bar Trico船橋)

ウ. 京葉分会ホームページの利用促進

3. 各種大会及び説明会関係

ア. 全国安全週間実施要領説明会

実施日 令和6年6月7日

場 所 京葉建設会館

特別講演

演 題 「2024年 熱中症対策」
～働く人のための熱中症対策セミナー～
講 師 大塚製薬株式会社 首都圏第一支店 千葉出張所
石原 勉 氏
参加者 28社、30名

イ. 第41回千葉県建設業労働災害防止大会

実施日 令和6年7月8日
場 所 京成ホテルミラマーレ
参加者 38社、41名

ウ. 全国労働衛生週間説明会

実施日 令和6年9月13日
場 所 京葉建設会館
特別講演
演 題 「職場のメンタルヘルス対策」
講 師 千葉産業保健総合支援センター
メンタルヘルス対策促進員 内藤 恵子 氏
参加者 30社、33名

エ. 創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会in東京

実施日 令和6年10月3日～4日
受賞者 優良賞 川城建設㈱
福葉水道㈱
功労賞 千葉ロードサービス㈱ 西原 勝徳 様

オ. 第29回京葉分会労働災害防止大会 実行委員会

実施日 令和6年9月13日
場 所 京葉建設会館
議 題
①安全大会実行委員役割分担(案)について
②招待者名簿(案)について
③管内五市・暦年代表挨拶の依頼について
④特別講演会講師(案)について
⑤安全大会プログラム(案)について
⑥安全大会予算(案)について
⑦安全大会会場の配置図について
⑧大会宣言について
⑨タイムスケジュールについて
⑩年間無災害表彰の申告について
⑪来賓、会員への案内文(案)について
⑫令和7年度の会場について

カ. 第29回京葉分会労働災害防止大会

実施日 令和6年11月15日
場 所 オリエンタルホテル東京ベイ
参加者 98名(招待者19名、受賞者11名、会員等68名)

概 要

第一部 式 典 受賞者:17社
大会宣言 駒田副分会長
第二部 特別講演
講 師 都並 敏史 様(元 サッカー日本代表)
演 題 「サッカーにおける危機管理」

キ. 第74回千葉県産業安全衛生大会

実施日 令和6年10月30日
場 所 千葉市民会館
参加者 数名

4. 各種パトロール等

ア. 建設現場パトロール

第1回パトロール
実施日 令和6年6月27日
場 所
①市川・浦安地区
R5国道357号市川共同溝補強その21工事

R5国道357号舞浜大橋左岸高架橋(山側)耐震補強その2外工事

②船橋地区

KGF南海神第一物流倉庫外壁改修工事
(仮称)下総中山駅前プラザプロジェクト新築工事

③習志野・八千代地区

プロロジスパーク八千代2プロジェクト
京成大久保プロジェクト新築工事

第2回パトロール

実施日 令和6年11月28日

場 所

①市川・浦安地区

西濃運輸(株)市川支店建替工事ターミナル棟新築工事
(仮称)月島食品工業(株)東京物流センター建設計画

②船橋地区

船橋市本郷町計画新築工事
(仮称)K様船橋市本郷町計画新築工事

③習志野・八千代地区

(仮称)藤崎こども園整備工事(建築工事)
(仮称)習志野市津田沼計画新築工事

4. 公共工事発注機関労働災害防止連絡協議会(事務局:船橋市)

(1)総会(書面決議)

実施日 令和6年7月5日

(2)研修会

実施日 令和6年10月31日

場 所 浦安市文化会館 大会議室

講 師 船橋労働基準監督署 加藤安全課長
「建設業における労働災害防止について」

出席者 事務局(岡田)

(3)パトロール

実施日 令和6年1月20日、22日、23日

場 所

市川地区

南八幡浄水場排水処理棟脱水設備更新工事
市川市大和田5丁目10番地先配水管整備工事

船橋地区

港湾メンテナンス工事(中央埠頭北A岸壁付属工その2)

浦安地区

海岸基盤整備工事(浦安海岸水叩工その21)

浦安海岸千鳥地区安全施設設置等工事(2工区)

5. 優良事業所見学会

今年度は、2023年に世界最高レベルの効率を誇る石炭火力発電所として再構築された、神奈川県にある横須賀火力発電所を見学。最新鋭設備の導入や地域共生への取り組みを学び、原発の再稼働を含め、新時代における日本のエネルギーについて理解を深めた。

実施日 令和6年12月12日

場 所 JERA横須賀火力発電所

参加者 23社、24名

6. 安全祈願祭

年頭に当たり、工事の無地息災を祈るとともに、会員相互の親睦を図った。

実施日 令和7年1月23日

場 所 成田山新勝寺

参加者 32社、35名

7. 京葉建設業センター・建災防京葉分会 合同事業

(1)合同研修旅行

実施日 令和6年10月18日～19日

場 所 四国方面(桂浜～かずら橋～金毘羅山、他)

参加者 40社、41名(京葉建設業センターと合同)

(2)合同ゴルフコンペ

実施日 令和6年11月27日

場 所 総武カントリークラブ 印旛コース

参加者 28社、30名(京葉建設業センターと合同)

以上

令和6年度 建災防京葉分会 収支決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

I. 収入の部

(単位:円)

No.	科 目	R 6 予算額 (A)	R 6 決算額 (B)	差額 (B) - (A)	備 考
1	分会独自会費収入	14,050,000	13,736,500	△ 313,500	
2	分会事業収入	465,400	465,400	0	県外会費分、安全大会、安全指導員
3	加入証明	50,000	42,500	△ 7,500	加入証明85件
4	利息	200	7,884	7,684	利息
5	雑 収 入	100,000	72,000	△ 28,000	特別会員等
	合 計	14,665,600	14,324,284	△ 341,316	

II. 支出の部

(単位:円)

No.	科 目	R 6 予算額 (A)	R 6 決算額 (B)	差額 (B) - (A)	備 考
	ア 管理諸費	9,225,000	8,929,054	△ 295,946	
1	旅 費	5,000	0	△ 5,000	
2	印刷製本費	150,000	62,040	△ 87,960	封筒印刷 (年3回)
3	消耗品費	70,000	51,703	△ 18,297	文具品
4	通信運搬費	600,000	513,221	△ 86,779	郵便分発送・メール等
5	備品費	10,000	0	△ 10,000	
6	会議費	20,000	0	△ 20,000	昼食代等
7	総会費	300,000	267,380	△ 32,620	ブライトンホテル
8	事務負担金	5,000,000	5,000,000	0	京葉建設業組合事務負担金
9	負担金	3,000,000	2,981,050	△ 18,950	千葉県支部・葛南木建協へ負担金
10	交際費	60,000	53,660	△ 6,340	慶弔等
11	雑 費	10,000	0	△ 10,000	
	イ 広報費	1,760,000	1,668,838	△ 91,162	
12	機関誌発行費	900,000	887,039	△ 12,961	分会便り、HPリニューアル費用、他
13	労働災害防止大会	850,000	781,799	△ 68,201	記念品、他
14	講習用テキスト費	10,000	0	△ 10,000	講習用DVD
	ウ 事業費	3,600,000	3,945,754	345,754	
15	安全祈願祭	200,000	140,400	△ 59,600	成田山新勝寺
16	現場パトロール費	900,000	891,087	△ 8,913	出動手当、燃料代等年2回実施
17	全国・安全大会費	2,000,000	2,180,087	180,087	受賞祝賀会、合同研修会、合同ゴルフコンペ
18	安全衛生週間費	100,000	112,549	12,549	ポスター配布等
19	県外事業所見学会	400,000	621,631	221,631	県外優良事業所見学
	合 計 (ア+イ+ウ)	14,585,000	14,543,646	△ 41,354	

III. 繰越の部

(単位:円)

No.	科 目	R 6 予算額 (A)	R 6 決算額 (B)	差額 (B) - (A)	備 考
	当期差額= I - II	80,600	△ 219,362	△ 299,962	
	前年度からの繰越額	14,019,413	14,019,413	0	
	次年度への繰越額	14,100,013	13,800,051	△ 299,962	

令和7年度 事業計画

建災防の目標である建設業における「労働災害ゼロ、死亡災害ゼロ」を目指し、当京葉分会における令和7年度の事業を下記のとおり計画しましたので、皆様方のご協力をお願い致します。

1. 三役会、理事会、総会関係

(1) 三役会の開催(※ 随時開催)

(2) 第1回理事会の開催

実施日時 令和7年4月25日

場 所 京葉建設会館

(3) 通常総会の開催

実施日時 令和7年5月16日

場 所 浦安ブライトンホテル

(4) 第2回理事会の開催

実施日時 令和7年6月

場 所 京葉建設会館

(5) 第3回理事会の開催

実施日時 令和7年12月5日

場 所 京葉建設会館

2. 広報関係

(1) 「分会だより」の発行

第77号(令和7年7月1日発行:400部)

第78号(令和8年1月1日発行:400部)

(2) 編集委員会の開催

第1回編集委員会 令和7年 5月 9日

第2回編集委員会 令和7年 6月 6日

反省会 令和7年 7月11日

第3回編集委員会 令和7年11月 7日

反省会 令和7年12月

(3) ホームページの利用促進

3. 各種大会及び実施要項説明会関係

(1) 全国労働安全週間実施要領説明会

実施日時 令和7年6月6日

場 所 京葉建設会館

(2) 千葉県建設業労働災害防止大会(第43回)

実施日 令和7年7月7日

場 所 京成ホテルミラマーレ

(3) 全国労働衛生週間実施要領説明会

実施日時 令和7年9月5日

場 所 京葉建設会館

(4) 第62回全国建設業労働災害防止大会

実施日 令和7年10月2日(木)～3日(金)

場 所 ワールド記念ホール(兵庫県神戸市)

(5) 第30回京葉分会労働災害防止大会実行委員会

①大会準備

実施日時 令和7年9月5日

場 所 京葉建設会館

②当日準備

実施日 令和7年11月14日

場 所 オリエンタルホテル東京ベイ

4. 各種安全パトロール

(1) 前期

実施日 令和7年6月中旬～下旬

場 所 3地区(八千代・習志野、船橋、市川・浦安)

(2) 後期

実施日 令和7年11月中旬～下旬

場 所 3地区(八千代・習志野、船橋、市川・浦安)

5. その他の行事

(1) 優良事業所見学会

実施日 令和7年12月予定

場 所 未定

(2) 安全祈願祭

実施日 令和8年1月22日(予定)

時 間 午後3時00分～

場 所 成田山新勝寺、ひかたや第二支店

6. 京葉分会、京葉建設業センターの合同研修事業

① 合同研修会

実施日 令和7年10月2日(木)～3日(金)

場 所 兵庫県神戸市

※第62回全国建設業労働災害防止

大会が神戸開催のため

② 合同ゴルフコンペ

実施日 令和7年 秋

場 所 未定

※編集委員会の中から幹事数人を選定

以上

令和7年度 建災防京葉分会 収支予算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

I. 収入の部

(単位:千円)

科 目	R 7 予算 (A)	R 6 決算額 (B)	差額(A) - (B)	備 考
分会独自会費収入	13,200,000	13,736,500	△ 536,500	会員の売り上げ減少傾向のため
分会事業収入	465,400	465,400	0	県外会費分、安全大会
加入証明	125,000	42,500	82,500	加入証明 85件から250件に増加
利息	5,000	7,884	△ 2,884	利率改定のため
雑収入	80,000	72,000	8,000	特別会員等
合 計	13,875,400	14,324,284	△ 448,884	

II. 支出の部

(単位:千円)

科 目	R 7 予算 (A)	R 6 決算額 (B)	差額(A) - (B)	備 考
管理諸費	9,065,000	8,919,484	145,516	
旅 費	5,000	0	5,000	
印刷製本費	75,000	62,040	12,960	封筒印刷費の増
消耗品費	55,000	51,703	3,297	文具品等
通信運搬費	550,000	503,651	46,349	郵便分発送、メール便等の増
備品費	5,000	0	5,000	
会議費	10,000	0	10,000	昼食代等
総会費	300,000	267,380	32,620	会場費値上げに伴う増
事務負担金	5,000,000	5,000,000	0	京葉建設業組合事務負担金
負担金	3,000,000	2,981,050	18,950	千葉県支部、葛南木建協へ負担金
交際費	60,000	53,660	6,340	慶弔等
雑 費	5,000	0	5,000	
広報費	1,660,000	1,668,838	△ 8,838	
機関誌発行費	850,000	887,039	△ 37,039	分会便り、HPリニューアル費用、他
労働災害防止大会	800,000	781,799	18,201	記念品、他
講習用テキスト費	10,000	0	10,000	講習用DVD
事業費	3,150,000	3,935,304	△ 785,304	
安全祈願祭	150,000	140,400	9,600	成田山新勝寺
現場パトロール費	900,000	891,087	8,913	出勤手当、燃料代等(年2回実施)
合同研修事業	1,500,000	2,180,087	△ 680,087	合同研修旅行、合同ゴルフコンペ
安全衛生週間費	100,000	102,099	△ 2,099	ポスター配布等
県外事業所見学会	500,000	621,631	△ 121,631	県外優良事業所見学
合 計 (ア+イ+ウ)	13,875,000	14,523,626	△ 648,626	

III. 繰越の部

(単位:千円)

科 目	R 7 予算 (A)	R 6 決算額 (B)	差額(A) - (B)	備 考
当期差額= I - II	400	△ 199,342	199,742	
前年度からの繰越額	13,820,071	14,019,413	△ 199,342	
次年度への繰越額	13,820,471	13,820,071	400	

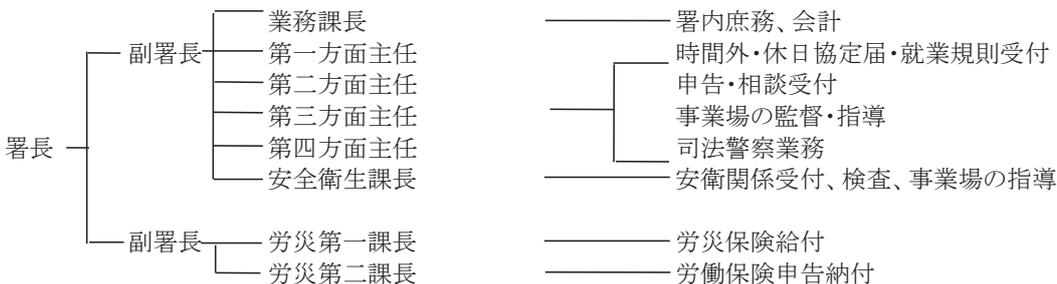
令和7年度 船橋労働基準監督署職員紹介

令和7年度の職員を紹介します。

署長 塩田 康夫	副署長 仁科 智好	副署長(労災担当) 川名 克子
-------------	--------------	--------------------

第一方面	方面主任監督官 藁口 労働基準監督官 佐藤 労働基準監督官 村上	担当業務 ・就業規則、36協定等の受付 ・解雇・賃金不払・労働時間等に係る申告処理、相談対応 ・事業場への監督指導・司法警察業務 ・労働時間相談・支援	業務課	課長 豊田	担当業務 ・庶務・会計 ・庁舎管理
第二方面	方面主任監督官 西川 労働基準監督官 岩本		安全衛生課	課長 加藤 労働基準監督官 劔持 労働基準監督官 堀内 労働基準監督官 長倉	担当業務 ・労働者死傷病報告、健診結果報告等の受付 ・計画届、設置報告受付・審査 ・ボイラー・クレーン等の検査 ・安全衛生指導、災害調査
第三方面	方面主任監督官 田崎 労働基準監督官 田島 労働基準監督官 山口		労災第一課	課長 石本 労災給付調査官 新井 厚生労働事務官 駒沢 厚生労働事務官 大塚 厚生労働事務官 松岡 労働基準監督官 高田	担当業務 ・労災保険の成立 ・労働保険料の申告、納付 ・労災保険請求の受理
第四方面	方面主任監督官 秋山 労働基準監督官 伊藤		労災第二課	課長 高石 労災給付調査官 林 補償係長 楠本 厚生労働事務官 藤原 厚生労働事務官 小川	・各種補償給付金事務

船橋署の組織と業務内容



令和7年6月1日に
改正労働安全衛生規則が
施行されます

職場における 熱中症対策の強化について



熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが
「初期症状の放置・対応の遅れ」

早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において
**死亡に至らせない
(重篤化させない)ための
適切な対策の実施が必要。**

基本的な考え方



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられます。

1 「熱中症の自覚症状がある作業中」や「熱中症のおそれがある作業中を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業中への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業中を積極的に把握するように努めましょう。

2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ確かな判断が可能となるよう、
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業中への周知

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講じることとする。

「令和7年度エイジフレンドリー補助金」のご案内（抜粋版）

- 高齢労働者の労働災害防止のための設備改善や専門家による指導を受けるための経費の一部を補助します。
- 高齢労働者の雇用状況や対策・取組の計画を審査の上、効果が期待できるものについて、補助金を交付します。全ての申請者に補助金が交付されるものではありません。

安全衛生対策コース名	補 助 対 象	対象事業者				
I 総合対策コース ・補助率 4 / 5 ・上限額 100万円（消費税を除く）	・労働安全衛生の専門家によるリスクアセスメントに要する経費 ・ リスクアセスメント結果を踏まえた、優先順位の高い労働災害防止対策 に要する経費（機器等の導入、工事の施工等）	・中小企業事業者 ・1年以上事業を実施していること ・役員を除き、自社の労災保険適用の 高齢労働者（60歳以上） が常時1名以上就労していること ・高齢労働者が対策を行う作業に就いていること				
II 職場環境改善コース ・補助率 1 / 2 ・上限額 100万円（消費税を除く）	・高齢労働者の身体機能の低下を補う設備・装置の導入その他の労働災害防止対策に要する経費（機器等の導入、工事の施工等）					
熱中症予防対策プラン	・熱中症の発症リスクの高い高齢労働者の熱中症予防対策に要する経費（機器の導入等）					
III 転倒防止・腰痛予防のための運動指導コース ・補助率 3 / 4 ・上限額 100万円（消費税を除く）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">転倒防止</td> <td>・労働者の転倒災害防止のため、専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費（役員を除き、5人以上の自社の労災保険適用労働者に対する取組に限ります）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">腰痛予防</td> <td>・労働者の腰痛災害の予防のため、専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費（役員を除き、5人以上の自社の労災保険適用労働者に対する取組に限ります）</td> </tr> </table>	転倒防止	・労働者の転倒災害防止のため、 専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費 （役員を除き、5人以上の自社の労災保険適用労働者に対する取組に限ります）	腰痛予防	・労働者の腰痛災害の予防のため、 専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費 （役員を除き、5人以上の自社の労災保険適用労働者に対する取組に限ります）	・中小企業事業者 ・1年以上事業を実施していること ・役員を除き、自社の労災保険適用の 労働者（年齢要件なし） が常時1名以上就労していること
転倒防止	・労働者の転倒災害防止のため、 専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費 （役員を除き、5人以上の自社の労災保険適用労働者に対する取組に限ります）					
腰痛予防	・労働者の腰痛災害の予防のため、 専門家による身体機能のチェック及び専門家による運動指導を受けるために要する経費 （役員を除き、5人以上の自社の労災保険適用労働者に対する取組に限ります）					
IV コラボヘルスコース ・補助率 3 / 4 ・上限額 30万円（消費税を除く）	・事業所カルテや健康スコアリングレポートを活用したコラボヘルス等、労働者の健康保持増進のための取組に要する経費（役員を除き、自社の労災保険適用の労働者に対する取組に限ります）					

交付申請書類受付期限 令和7年10月31日（当日消印有効）

支払請求書類受付期限 令和8年 1月31日（当日消印有効）

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会
「エイジフレンドリー補助金事務センター」
 （ホームページ <https://www.jashcon-age.or.jp>）

関係書類送付先	〒105-0014 東京都港区芝1-4-10 トイヤビル5階 エイジフレンドリー補助金事務センター 交付申請書類は「申請担当」宛へ、支払請求書類は「支払担当」宛へお送りください 関係書類は郵送または宅配便のみでの受付となります（メールでの申請はできません） 封筒に消印が確認できない料金別納・料金後納や、受付日の確認できない宅配便では送付しないでください	
お問合せ先	申請担当 電 話：03（6381）7507 F A X：03（6381）7508	支払担当 電 話：03（6809）4085 F A X：03（6809）4086
受付時間	平日10：00～12：00/13：00～16：00 （土日祝休み、平日12：00～13：00は電話に出ることができません） <8月13日～8月16日（夏季休暇）、12月30日～1月3日（年末年始）を除く>	

エイジフレンドリー補助金についての詳細は右のQRコードから厚生労働省ホームページにアクセスしご確認ください。



(R7.5)

令和7年度 建災防千葉県支部通常総会



戸邊昌之支部長

令和7年度建設業労働災害防止協会千葉県支部通常総会が、6月5日(木)、京成ミラマールに於いて開催されました。鎌形副支部長の開会の辞に続き、戸邊昌之支部長よりご挨拶を頂きました。次いで、ご来賓の千葉労働局 小山英夫労働基準局長よりご祝辞を頂いた後、議案審議が行われ、令和6年度事業報告・収支決算・監査報告(第1・2号議案)、令和7年度事業計画案・収支予算案(第3・4号議案)が全会一致で可決承認され、閉会の辞をもって総会は無事終了した。

【令和7年度 事業計画(第3号議案)より】

令和5年4月からスタートした建災防の第9次建設業労働災害防止5カ年計画では死亡災害の減少目標として2点を挙げている。1点目は計画期間中の死亡災害の平均発生件数を第8次計画期間の平均発生件数に対して15%以上減少させるとしており、千葉県の場合は8件以内が目標となる。しかしながら死亡災害は一昨年が10件、昨年が9件であり目標値を2年連続で上回ってしまった。2点目は、墜落・転落による死亡災害の平均発生件数を第8次計画期間の平均発生件数に対して15%以上減少させるとしている。千葉県の場合は第9次計画期間中の墜落・転落による死亡災害の平均発生件数を3.7件以内に抑えることが目標となる。墜落・転落による死亡災害は一昨年が5件、昨年が3件で2年間の平均発生件数は4件となり、目標値を上回ってしまった。2つの目標値をいずれも上回ってしまい目標達成できなかったが、残された計画期間中に目標達成に向けてより一層の取組強化を図って行く必要がある。ここ5年間の千葉県内建設業における死亡災害の特徴を見ると、



小山英夫千葉労働局長

① 墜落・転落災害を始め三大災害関係の多発

過去5年間の死亡災害総数44件のうち、墜落・転落災害が19件(43.2%)を占め、崩壊・倒壊災害7件(15.9%)転倒4件(9.1%)交通事故3件(6.8%)などとなっている。数字上でも三大災害対策の重要性が裏付けられているが、特に墜落・転落災害が相変わらず最多となっている。

② 死亡災害に占める非会員事業場割合が依然として高率

5年間44件のうち35件(79.5%)が非会員事業場(元請・下請含めて)で占められている。今後、県内建設業での重篤な労働災害防止を推進するには、非会員事業場への加入促進を図り自主的な安全衛生管理活動の実施を働きかけることが急務と考える。

③ 改修等工事(改修・更新・解体工事)における災害発生が多発

改修等工事における死亡災害が、過去5年間に14件(31.8%)発生していることである。

改修等工事は、施工に係る制約が多く、技術的にも難易度が高いことから、施工計画作成時のリスクアセスメントの充実を図る必要がある。

今年度の基本方針

- ① 「墜落・転落災害」を中心とした三大災害防止対策
- ② 交通事故防止対策並びに転落事故防止対策
- ③ 改修等工事も含め、施工計画と一体となったリスクアセスメントの実施
- ④ 作業従事者のメンタルヘルスを含めた健康の保持・増進
- ⑤ 会員加入の促進

建設現場安全パトロール

初冬を思わせる令和6年11月28日(木)、京葉分会による建設現場安全パトロールが3班に分かれて行われた。

私が担当した1班(市川・浦安地区)10名は、船橋労働基準監督署の監督官と共に現場に向かった。

まず初めに向かった現場は、大和ハウス工業株式会社が施工する、西濃運送(株)市川支店建替え工事ターミナル棟新築工事であった。現場事務所にて安全書類の確認と工事内容の説明を受けて現場に向かった。

解体工事は既に終了しており、基礎工事を施工しているところであった。

運搬路と作業帯を明確にしており、階段や足場部分には手摺や幅木などを設置し転落防止対策がされていた。また現場事務所とは反対方向に休憩所を置く事で、作業環境の改善に努めていた。



続いての現場は、株式会社フジタ東京支店が施工する(仮称)月島食品工業(株)東京物流センター建設で、RC造+一部S造の4階建て工事であった。現場事務所にて、安全書類の確認と工事内容の説明を受けて現場に向かった。現場事務所の前に入場用のプレハブ小屋があり入場と同時に検温を行う事で感染症に対する対策が見て取れた。

現場に入ると1階部分は段差部にカラーコーンによって作業帯を明確にしていた。

外部階段や開口部には手摺や落下防止ネットなどによって墜落災害防止対策がされていた。

指摘事項として、「足場の組み立てを行っていた作業員が安全帯をしようしていない」などが挙がっていた。

両社とも、建築の現場であったが、搬入路の鉄板養生や歩行者用通路の作成、整理整頓などがしっかり行われていた。自らの現場でも高所作業による転落事故防止と車両による接触事故を無くせるよう参考になった建設現場パトロールでした。



女性経営者座談会 Vol.8

女性の絆

令和7年6月4日(水)18時30分より和旬彩・串あげ おぼら(船橋市本町4-37-6)にてT&S会*の座談会が開催されました。今回のメンバーは、高山分会長(本田土木工業)を筆頭に、菅井社長(中川組)、石神社長(高根建設)、星名取締役(福葉水道)、堺前社長(カネケン京葉コミュニティ)様、今回の記事担当の柴田(土佐工業)6名です。

コース料理は、目と口で楽しみながらいただきました。お酒が進むにつれ話題は豊富にポン

ポンとでできます(大笑い)賑やかですよ~♡♡

私たち女性陣は回を重ね、また、ゴルフや旅行などともにする上で絆が深まってきました。

しかし、今回の座談会はいつもと異なります。堺前社長様が建設業界を6月末で卒業することとなりました。コロナ禍に社長へ就任されて大変だったと思います。はじめは物静かな方だと思いましたが、今では日本酒を飲んだらひょうきんでとてもチャーミングで愛されキャラに変身して、千種節が全開です。

これからは「千種会^{ちくさ}」を発足して会いましょう!とみんな誓った夜でした(^O^)/
「本当にお疲れ様でした♡ありがとうございました♡ これからもよろしくお祈いします。」



(*2022年夏号の記事で紹介 →私が名付けるとしたら「Team T.T(高山)」または「Team T&S(高山&菅井)」が良いのではないかと思います。)の会です。)

今回ご紹介するのは『船橋大神宮』すぐ近くにある和食店
 **健美食 燎~kagaribi~ (かがりび) **

燎

営業時間

昼 11:30~15:00

夜 17:00~22:00

木曜定休

TEL 047-409-3447

千葉県船橋市宮本

5-13-19



燎
kagaribi



「からだもこころも、すべては食べ物から」をテーマに安心・安全な旬の食材をふんだんに使った、心と体にやさしい料理が味わえます。

四季折々の味覚を大切にしたいメニューは、体の内側から元気になれるよう丁寧に作られており、ランチはもちろん、お酒とともにくつろげる夜のひとときにもぴったりです。

季節ごとの美味しさと、やさしさに満ちたおもてなし。そんな和食時間を健美食 燎~kagaribi~でぜひご堪能ください。

私の1ページ:現場での命を守る熱中症対策

2024年の法改正で熱中症の危険がある環境下での作業における早期発見、重症化防止のための体制整備、関係者への周知が求められるようになりました。現場管理者は熱中症対策をより適切に実施することが求められます。しかし、いざ現場で人が熱中症を発症しているのか判断するのは中々難しい場合もあると思います。そこで熱中症リスクを主観ではなく「数値」で判断できるよう私なりにまとめてみました。本ページでは、WBGT値・体温・心拍・爪色などを活用した「見える化」対策で命を守る取り組みを紹介します。

① WBGT（暑さ指数）での判断

- WBGTとは：湿度・気温・放射熱を取り入れた熱ストレス指数（厚生労働省基準）
 - WBGT 28℃超：警戒レベル。水分補給・休憩の強化が必要
 - WBGT 32℃以上：原則、作業の中止・時間帯変更・冷却装備の活用
- ※現場にモニター設置やアラーム設定が有効
- ▶ 出典：STOP！熱中症 クールワークキャンペーン（厚生労働省）

② 体温・心拍数の「数値」で見る体調変化

- 体温 38℃以上 → 高温：熱中症リスク大、即休憩
- 安静時心拍数が100以上 → 脱水・過労の可能性あり
- 非接触型体温計・スマートウォッチ等の導入で常時モニタリングを推奨

③ 爪色の「押して見る」チェック法

親指の爪を5秒ほど押して白くし、離れた後の変化を観察。

- ピンクに戻るのが3秒以上かかる → 血流が悪化＝「隠れ脱水」の兆候
- ▶ 出典：厚生労働省「熱中症の予備軍～隠れ脱水症の見つけ方～」



▲ 爪押しチェック法（厚生労働省）

④ 事前の体調チェックで熱中症リスク明確化へ

朝礼等でヒアリングし、次のいずれかが当てはまる場合は、熱中症リスクが高いので現場管理者は注意

- ✓ 寝不足・二日酔い
- ✓ 朝食を食べていない
- ✓ 高齢者(65歳以上)の方
- ✓ 持病がある(特に糖尿病・高血圧・腎不全の方は要注意！)
- ✓ その他体調不良がある

→ 体温と併せて確認し、複数該当する場合は点数化すればより熱中症リスクが明確に

→ 多数該当する、又は体調不良の場合は極力作業中止、または涼しい場所で簡易的な作業に従事してもらう

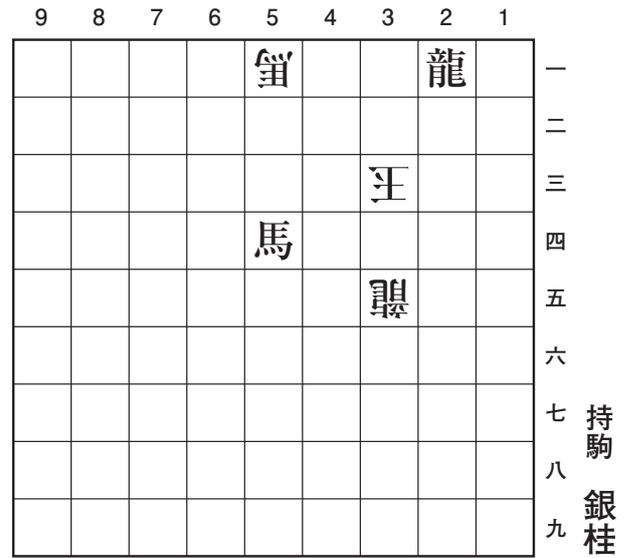
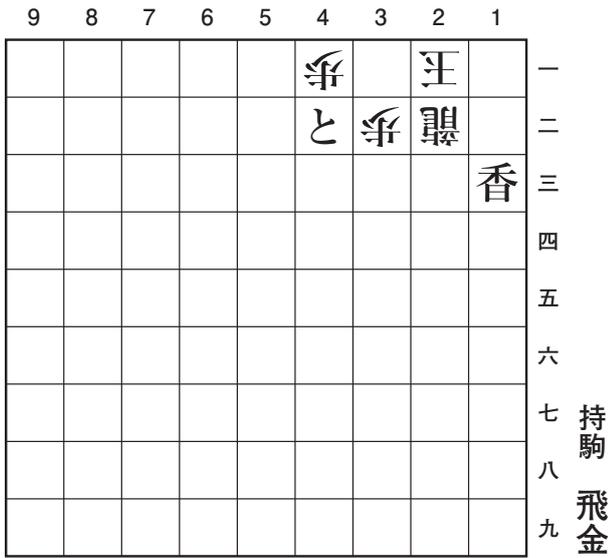
⑤ 毎日の習慣とチームでの見守り

- 朝の体温・心拍・爪チェックを日課に！
- 異変があれば遠慮なく声をかける「見守りの現場」づくり
- WBGTモニター・熱中症チェックポスターで見える化徹底

熱中症対策は「数値で判断」「見た目で察知」「声かけで守る」チーム連携が命を守ります。数値に基づく管理と、チームの声かけ・見守りの両輪で、誰もが安全に働ける現場づくりができます。

熱中症対策は一人一人の意識と、現場全体の仕組みで守る命の取り組みです。今後さらに暑さが厳しくなると予想される中で、「見える化」と「見守り」を柱に、確実な熱中症対策を実施していきましょう。

詰め将棋



ヒント：慎重に考える

3手詰

王香二 ♞ 驥 ♞ 香 ♞ 龍 ♞ 香 ♞

ヒント：退路封鎖の方法は？

5手詰

王香二 ♞ 驥 ♞ 香 ♞ 龍 ♞ 香 ♞

事務局からのお知らせ



行事予定

- 9月5日 全国労働衛生週間実施要領説明会
- 10月2日～3日 第62回全国建設業労働災害防止大会
in兵庫
(ワールド記念ホール、神戸国際展示場)
- 11月14日 第30回京葉分会労働災害防止大会
(オリエンタルホテル東京ベイ)
- 11月下旬 第2回建設現場パトロール
- 12月中旬 管外優良事業場の視察
- 1月22日 安全祈願祭(令和8年)

ホームページURL

<http://www.kensaibo-keiyo.com/>



E-mail

info@keiyokk.com

発行所

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会
 市川市東菅野5-13-21 京葉建設会館内
 TEL:047-338-0888 FAX:047-338-0889
 発行人:高山 貴子 編集責任者:小原 智